

第8回 定例評議員会議事録

財団法人神奈川県スキー連盟

1. 日 時 : 平成15年5月24日(土) 午前10:05～11:50
2. 場所 : 神奈川県社会福祉会館 4階第2研修室 (横浜市神奈川区沢渡 4-2)
3. 評議員出席状況 : 評議員現在数 : 50名
出席評議員数 : 31名
委任評議員数 : 17名
欠席評議員数 : 2名 (出欠表添付)
4. 出席理事 : (副会長)古郡 敬一、廣瀬 稔、野地 澄雄
(専務理事) 山田 隆
(常務理事) 片 忠夫、渡邊 三郎、菊地 富士夫
(理 事) 早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 延、本田 衛義、徳本 進、
(理 事) 長久保 巖、斉藤 幸雄、岡本 洋一、木村 徳善、菊地 勇二、清水 忠、
(理 事) 栗田 謙悟、平澤 幸一、本宮 敏宏
(監 事) 徳田 盾夫、井駒 利一
5. 欠席理事 : (会長)河野 洋平、(常務理事) 越前谷芳隆、(理事)堀 祐樹
6. 出席顧問・参与 : (顧問) 押川 泰夫、小林 幹夫、(参与) 小島 祐嘉
7. 議長選出 : 有我 幸雄評議員(平塚スキー協会)を選出。
8. 議事録署名人 : 神谷 明宏評議員(横浜スキー協会)、征 一成評議員(川崎スキー協会)を選出。
9. 書記 : 百海 延理事、徳本 進理事、池田 一紀広報委員を指名。
10. 配布資料
第8回評議員会資料
第8回定例評議員会進行スケジュール
11. 議 事
 - 1) 第1号議案
 - (1) 報告事項
一般経過報告について
山田 隆専務理事から、平成14年度(SAJ15年度)の事業等につき報告があり了承した。
 - 2) 第2号議案
 - (1) 報告事項
平成15年度(SAJ16年度)執行方針(案)について
山田専務理事から、平成15年度(SAJ16年度)執行方針(案)につき報告があり了承した。
平成15年度(SAJ16年度)総務本部方針について
片 忠夫常務理事から、平成15年度(SAJ16年度)総務方針(案)につき報告があり了承した。
平成15年度(SAJ16年度)教育本部方針について
渡邊 三郎常務理事から、平成15年度(SAJ16年度)教育本部方針(案)につき報告があり了承した。
平成15年度(SAJ16年度)競技本部方針について
菊地 富士夫常務理事から、平成15年度(SAJ16年度)競技本部方針(案)につき報告があり、了承した。
平成15年度(SAJ16年度)予算方針(案)について
上田 英之理事から、平成15年度(SAJ16年度)予算方針(案)につき報告があり了承した。
平成15年度(SAJ16年度)予算(案)について
上田 英之理事から、平成15年度(SAJ16年度)予算(案)につき報告があり了承した。
 - (2) 審議事項
 - 1) 事業計画(案)について
松浦 哲也評議員(小田原)から、 活性化委員会について、 県連広報活動について、

県連行事と協会・クラブ行事の開催日の重複について質疑があり、山田 隆専務理事から、活性化委員会に関しては、答申されていないので発表段階でないが、メンバーは県連の専門委員から構成し、活動中とのこと、メディアに対するアピールにつきましては、ジャーナル・グラフィック誌はもとより、一番のアピールはホームページであること。県連のメインの行事については、日程調整しており、それ以外は参加者にチョイスして頂ければと報告された。

2) 事業計画(案)について

鈴木 正儀評議員(川崎)から、会員減少による行事の縮小・再編について、総務・教育・競技の各本部が活性化委員会の提言を重視しているが、答申された後の対応について質疑があり、

山田 隆専務理事から、事業の再編により、即、会員へのサービス低下に繋がってはならない。その前に県連としてやるべきことを改革して行きたい。活性化委員会に関しては、片忠夫常務理事から潜在的なスキヤーの掘り起こしと、県連の組織に新風を吹き込むことを狙いに諮問したので、その答申を受けて、さらに理事会の中で議論して行く考えを述べた。

3) 予算(案)について

鈴木 正儀評議員(川崎)から、海外スキー教室の収支について、指導員の教育関連書籍等の内容について、SAJ行事立会いの収支について、クラブ対抗駅伝の参加規模についての質疑があり、

山田 隆専務理事から、海外スキー教室及びSAJ立会いについて、説明が行なわれた。指導員の教育関連書籍等については、上田 英之理事から説明が行なわれ、クラブ対抗駅伝に関しては、菊池 富士夫競技本部長より、参加チーム数は9チーム、男子は6チーム、女子は3チームの報告があり、各協会・クラブからの積極的な取り組みをお願いした。

4) 事業計画(案)について

相澤 重明評議員(横浜)から、ブロック規程の基本的な考え方についての質疑があり、山田 隆専務理事から、ブロックに分けた主旨説明があり、片忠夫常務理事からは、将来的にブロック毎の大会運営、研修会・養成講習会の開催等により、クラブが活性化する方向で努力していく考えを述べた。

5) 競技会運営方法について

宮園 節評議員(秦野市)から、競技会運営の現地委託について質疑があり、菊池 富士夫競技本部長より、県連としても競技運営がルールどおりになされることを管理する為、競技役員を含め、10名程度で運営出来ればと考えていることが報告された。

6) 会計(案)について

吉岡 幹雄評議員(川崎)から、指導員の登録料についての質疑があり、上田 英之理事より、指導員の登録料に関して説明が行なわれた。

7) 事業計画(案)について

小室 静雄評議員(小田原)から、新規事業のスノーボードクロスとは何か、その補助金について、スポーツ振興くじについて質疑があり、山田 隆専務理事から、スノーボードクロスは、トリノオリンピックから正式種目になり、大会の要請があり、計画をたてたと報告された。スポーツ振興くじは、H/C委員会の行事運営に当てている。会計は、独立して特別会計としていることを報告した。

8) 事業計画(案)について

榎本 勝雄評議員(茅ヶ崎)から、一般会員に対し何か魅力あるアイデアを活性化委員会で考えて頂きたいとの要請があり、山田 隆専務理事から、努力していくことが報告された。

以上の提案について、全体を通しての質疑応答の後、議長より第2号議案について、一括承認を得たい主旨諮ったところ 満場一致で承認された。

3) 3号議案

(1) その他

1) SAJスキー教程及び検定種目の改訂について

山田 隆専務理事から、SAJ教育本部会議の経過報告があり、今秋にスキー教程を改訂す

ることが決定した。それに伴い検定種目も変わるとの説明が行われ、情報が入り次第報告していくことでした。

2) スノーボード登録会員の整備について

スノーボード有資格者数は多いが、登録管理が不十分なところもあるが、研修会規程が出来てきて、SAKも組織に取り込みたいと考え、整備している最中ですので、各協会においても登録推進してほしい旨、協力要請がありました。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成15年6月6日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印